

広報大洲

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2011
No.76

5

おおず



小学校閉校記念式典

平成23年度当初予算
平成23年度機構改革

わたしたちの小学校へ

たくさん「ありがとう」を

平成22年度末で、市内4校の小学校がその長い歴史に幕を閉じました。
3月26日(土)、27日(日)に行われた閉校記念式典の様子とそれぞれの小学校を
ご紹介します。



喜多瀬小学校



出海小学校



柳沢小学校



3月26日(土)

喜多灘小学校

高台に立つ喜多灘小学校は、校歌に歌われるとおり校舎や校庭から瀬戸内海を見下ろし、傍らには棚田が広がるとても景観のよい学校です。134年の長い歴史のなか2000人を超える児童が喜多灘小学校で学び、卒業していきました。

閉校記念式典で中井雄治校長は

「たくさんの方の行事も地域一体となって行ってきた。まさに地域と共に歩んだ学校だった。保護者・教師・地域が一体となって子どもたちを育んだ結果、素直でのびのびと育っている」と話しました。また、「地域一丸となって喜多灘小学校に感謝を込めた1年だった」と今年1年を振り返りました。そして、4月から長浜小・中学校に通う子どもたちには「この学校で育んだ夢を抱いて成長してください」とエールを送りました。



喜多灘小学校から望む瀬戸の海

喜多灘小学校統合準備委員会の丸井幸造委員長は「小学校は地域の核。地域にとってかけがえのない存在だが、現在・未来の子どもたちを最優先に考えた結果の決断。今後は公民館活動に一層力を入れ、元気な今坊を復活させたい」と今後の地域活動の抱負を話しました。



喜多灘小学校 5年
よしのぶ
後藤 嘉伸さん

ありがとう
喜多灘小学校

校庭に雪が積もって、先生も一緒に全校児童で雪合戦をしたのが楽しい思い出です。昨年の運動会は、それまでは行わなかった演目などを地域の人と一緒にやりました。地域の方は、運動会や敬老会、学芸会などいろいろな行事に参加してくれて、敬老会では一緒にもちつきもしました。

長浜小学校では、たくさん友だちを作っている思い出をつくりたいです。

瀬戸の内海見おろして
緑に映える喜多灘校
白いかおりにつつまれて
通う山道 丘の道
清く元気に育とうよ

3月26日(土)

柳沢小学校



児童代表の言葉 (塚本千尋^{ちひろ}さん)

ありがとう

柳沢小学校



柳沢小学校 4年
新山 莉奈^{りな}さん

柳沢小学校で一番楽しかった行事は、「矢落川のつどい」です。校舎の隣を流れる矢落川で泳いだり、地域の人と協力して校庭に作った段ボールハウスで泊まったりと、とても楽しかったです。運動会やほたるまつりなど地域の人とたくさんの行事をしました。

新谷小学校では、大縄とびなど大人数でしかできない遊びもしたいです。

矢落の川の水清く
恵みの郷の学び舎で
真の教えをひとすじに
清く明るく学ぼうよ

柳沢小学校は、山に囲まれた自然あふれる小学校です。地域の行事にも児童が積極的に参加し、地元には伝わる藤縄神楽も地域の保存会の指導のもと、全校児童で練習して地域のお祭りやさまざまな行事で披露するなど、地域とのつながりが深い学校です。

136年の歴史を持つ同校の閉校記念式典で、上満徹校長は「子どもたちは、柳沢を誇りに持ち愛する心を養うことで、自分に誇りを持ち自分を愛する心が養われている」と話し、子どもたちには「柳沢で育つたことに誇りを持ち、常にチャレンジする精神で頑張る

ください」と語りかけました。柳沢地区小学校閉校準備委員会の水元庄一委員長は、「地元やPTAからいろいろな意見をもらったが、今後は新谷地区の人たちとともに柳沢の子どもたちを見守りたい」とあいさつしました。

記念式典後には記念碑の除幕式が行われ、地域の人が手作りの旗を手に応援する中、児童らが記念碑をお披露目しました。その他、体育館や校舎内にはこれまでの卒業写真やスナップ写真などが飾られ、卒業生が自分の写真を探す姿も見られました。

3月27日(日)

出海小学校

静かにあける伊予灘に
影をおとして美しく
文化の光にかがやいた
ぼくとわたしの学びやは
ああ出海 出海小学校



記念碑に興味津々の児童たち

出海小学校は、開校間もない明治11年には151人の学齢児童のうち123人が不就学という厳しい状況から歩みを始めました。その後136年にわたり、地域と保護者が教育への熱意を持って歴史を刻み続けました。明治29年に現在地に新設された校舎には近隣から視察に来るほど近代的な校舎が建築されました。記念式典で山内徹校長は「他校に負けない教育を」という保護者と地域の思いに支えられた愛校心と愛郷心の強さを感じた。日々の努力の足跡は永遠に

輝き、児童15人への強い励ましとして心にとどまるでしょう」とあいさつしました。また、出海小学校統廃合準備委員会の垣見芳彦委員長は、今後について「小学校閉校とともに地域が衰退しないよう、足腰の強い地域づくりを行いたい。子どもたちは地域の宝、統合後の良好な教育環境に配慮してもらいたい」と話しました。

この日お披露目されたPTA親子記念碑には15人の児童の俳句や絵が彫られ、児童らは自分の作品を見つけて笑顔を見せていました。



出海小学校 5年
あきふみ
鈴木 章史さん

ありがとう
出海小学校

出海小学校では、今年3月にあったお別れ遠足が思い出に残っています。いつも遊んでいる出海のいろいろなところを見て回り、たくさんの発見があってとても楽しかったです。

長浜小学校へ行ったら、6年生になるので、みんなに負けないよう勉強をがんばりたいです。また、新しい友だちとサッカーをしたいと思います。

3月27日(日)

田処小学校

校舎の傍らを矢落川が流れ、夏にはたくさんゲンジボタルが飛び交う、豊かな自然に恵まれた田処小学校は、在籍児童3人という市内で一番小さな小学校です。しかし、明治5年に「櫻園校」として開校して以来139年という長い歴史を刻み続けてきました。

白石清美校長はこの1年を振り返って「田処小学校を支える地域の大きな力を感じる1年でした。行事のたびにたくさんの人に助けられ、子どもたちは田処らしく、『あかるく やさしく たくましく』の校訓どおりに育っています。これからも田処に感謝と誇りを持って歩んでください」と話しました。柳沢地区小学校閉校準備委員会の宮浦実副委員長は「開校以来、地域の人に見守られ多くの卒業生を輩出してきた。子どもたちには、新しい環境で元気に笑って多くのことを学び、田処小学校

で学んだことを忘れずに成長してほしい」と話しました。

式典終了後に児童らの手でお披露目された記念碑は、「櫻園校」にちなみ淡い桜色の石を使って建立され、田処小学校の歴史などが刻まれています。



田処小学校 5年
中野 真都さん

ありがとう 田処小学校

夏休みにある一泊学習会が毎年楽しみでした。地域の人や卒業生と一緒に川遊びをしたり、そうめんを食べたりして過ごしました。運動会や学芸会などの行事には地域の人が応援してくれ、一緒に参加することもありました。田処小学校がなくなるのはさみしいけど、新谷小学校ではみんなでサッカーをするのが楽しみです。勉強は国語が苦手なので頑張りたいです。



記念碑の前で写真撮影

矢落の流れ水清く
うつす心のほほえみは
清くただしく美しく
共に手を取り助け合い
共に手を取りはげまして
伸びる田処小学校